

一般診療において

HIV感染症を疑う



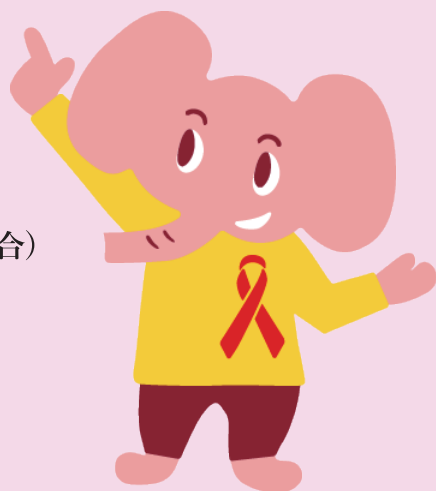
厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策研究事業
「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班
国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター

HIV感染症を疑うコツ

※HIVは日常生活では感染しません!

感染リスクの可能性は、

1. 性交渉(HIV感染者が未治療の場合)
2. 血液
3. 母乳のみ



はじめに	3
これを見たらHIV感染を疑おう.....	4~7
HIV感染を疑うデータ.....	8
よくある質問	9~10
HIV感染症診断のためのフローチャート.....	11
治療の進歩	12
効果的な治療を続ければHIVは感染しない!	13
福岡県内の拠点病院	14
終わりに	14

はじめに

我が国におけるHIV感染症患者数は2014年頃をピークとして、その他の先進国同様に減少しており、抗HIV薬の進歩もあり、日常診療でも出会う一般的な感染症のひとつとなっています。また全世界においてHIV感染症による死亡者数は、2004年の210万人をピークに2023年には63万人と7割近く減少しており、適切にHIV治療を受けることの重要性が示されています。そのためには早期にHIV感染を発見することが重要と考えられます。

しかしHIV感染症は長い無症候期があり、この時期には検査をしない限りHIV感染症の診断は不可能です。感染後、医療機関を受診しているにも関わらず、HIV感染は見落とされ、診断がついた時に極めて重篤な状況までHIV感染症が進行していることも最近多くみられるようになりました。進歩した抗HIV療法によっても救命は困難な場合があります。

このパンフレットでは、日常の一般診療の中でHIV感染症を疑うコツをいくつかお示しました。パンフレットをご活用頂きHIV感染症の早期発見にお役立て頂けたら幸いです。



HIVとエイズの違い

HIV感染

HIVとは
Human Immunodeficiency Virus
ヒト 免疫不全 ウイルス

免疫力の低下

- ・私たちの体には、病原体から身体を守る「免疫」というシステムが備わっています。
- ・HIVに感染すると、「免疫」のシステムが次第に失われ、健康な人では普通病気にならない弱い病原体でもさまざまな症状が出現するようになります。これがエイズを発症した状態です。

エイズ発症

AIDSとは
Acquired Immune Deficiency Syndrome
後天性 免疫不全 症候群

HIV≠エイズ



これを見たらHIV感染を疑おう

口腔内病変

口腔内カンジダ症

- HIV感染による免疫の低下がある患者に最もよく見られる所見です。
- 時に非感染者の高齢者でも見られますが、既往がなく若年患者ではまれですので、HIV感染を疑います。



皮 疹

急性期皮疹（HIV感染初期）

- 麻疹様の皮疹を認めることがあります。

⚠ CHECK POINT





カポジ肉腫

- 全身の皮膚及び粘膜に見られる暗紫色の隆起性病変です。



⚠ CHECK POINT

帯状疱疹

- HIV感染による免疫の低下がある場合は、繰り返すのが特徴です。



⚠ CHECK POINT

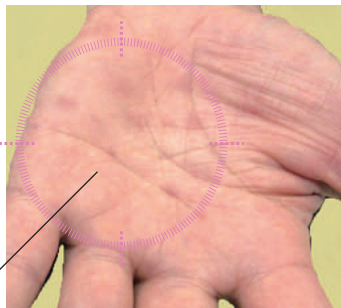


これを見たらHIV感染を疑おう

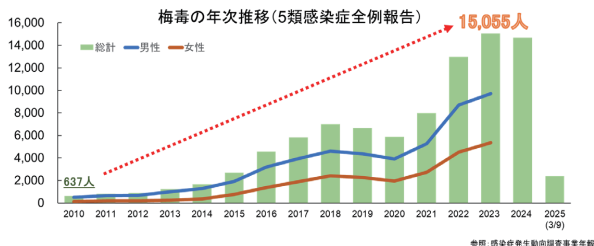
梅毒疹

- 四肢や体幹部等に掻痒感を伴う紅色皮疹が出現します。

※その他、初期の陰部潰瘍、扁平コンジローマやぶどう膜炎も認めます。
近年、梅毒感染は急増していますので、特に注意が必要です。



⚠ CHECK POINT



好酸球性膿疱性毛包炎

- 四肢や体幹、顔面等に掻痒感を伴う毛孔一致性の紅色丘疹が出現します。



⚠ CHECK POINT

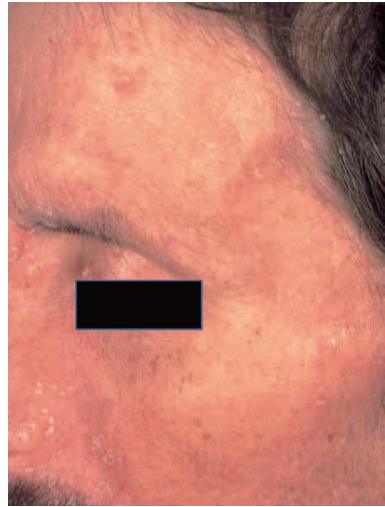
(参照: カラーアトラス AIDS)



脂漏性皮膚炎

- 被髪頭部および顔面に中等度から重度の落屑や紅斑が生じます。

⚠ CHECK POINT



(参照：カラーアトラス AIDS)

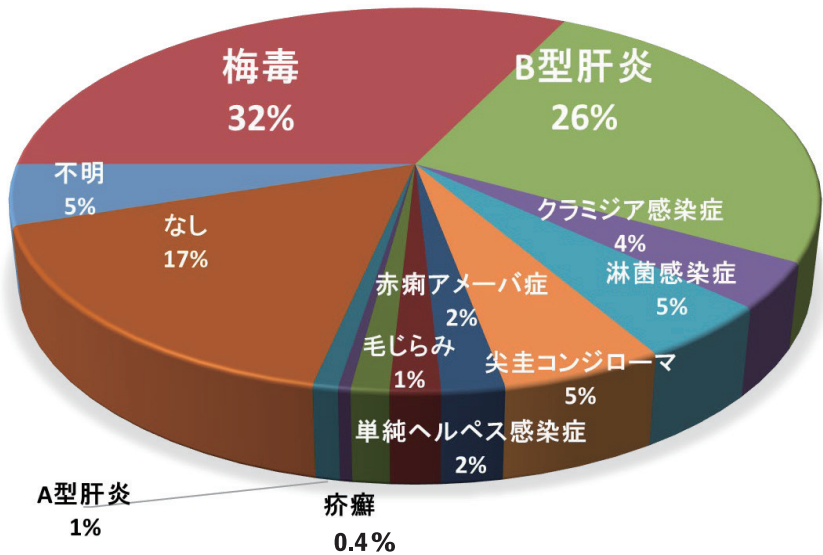
その他

- 肺炎（頻回に繰り返す場合は注意が必要です）
- 結核（HIV感染者では罹患率が上昇します）
- 原因不明の発熱
（インフルエンザ様の症状がみられますが鼻汁は認めません）
- 慢性咳嗽（ニューモシチス肺炎の可能性があります）
- 原因不明の体重減少
- 一か所以上のリンパ節の腫脹
- 繰り返す性感染症



HIV感染を疑うデータ

《当院免疫感染症内科初診患者の性感染症合併の割合(既往含む)》



当科初診のHIV感染患者のうち約半数が梅毒・B型肝炎にも罹患していました。上記の性感染症を発見した時はHIV検査を強く勧める必要があると考えます。また2017～18年にHIV感染者におけるA型肝炎のアウトブレイクが報告されており、HIV感染を疑う要素の一つとなります。



1. HIV検査について

Q. HIV検査は保険適用ですか？



A. HIV感染症を疑う病名があればHIV検査も保険適用されます。

「間質性肺炎などの後天性免疫不全症候群の疾病と鑑別が難しい疾病が認められる場合や、HIVの感染に関連しやすい性感染症が認められる場合、既往がある場合、または疑われる場合でHIV感染症を疑う場合は本検査を算定できる。」（保医発0305第1号平成24年3月5日）

2. 検査の同意について

Q. 本人に伝えずに検査をしてもいいですか？



A. 必ず本人の同意が必要です。

- 本人の判断能力から、同意取得が困難な場合は家族や保護者など代理人の同意が必要です。
- 同意書等の書面は必ずしも必要ではありませんが、口頭での同意の場合はカルテへ記載します。

<同意書の声かけ例>

- 「B型肝炎、性感染症、念のためHIVも検査しておきますね」
- 「今は昔と違っていいお薬が出ていますので、早く分かることが大切です」



3.検査結果の説明

Q. 結果はどのように伝えたいですか？

**A. 陽性・陰性に関わらず、結果は本人にのみ対面で伝えます。
また本人の承諾をえずに第三者に伝えてはいけません。**

なお、守秘義務については以下のような法律が定められています

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

第73条

「医師が、感染症の患者（疑似症患者及び無症状病原体保有者並びに新感染症の所見がある者を含む。次条において同じ。）であるかどうかに関する健康診断又は当該感染症の治療に際して知り得た人の秘密を正当な理由がなく漏らしたときは、一年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。」

第74条

「感染症の患者であるとの人の秘密を業務上知り得た者が、正当な理由がなくその秘密を漏らしたときは、六月以下の懲役又は五十万円以下の罰金に処する。」

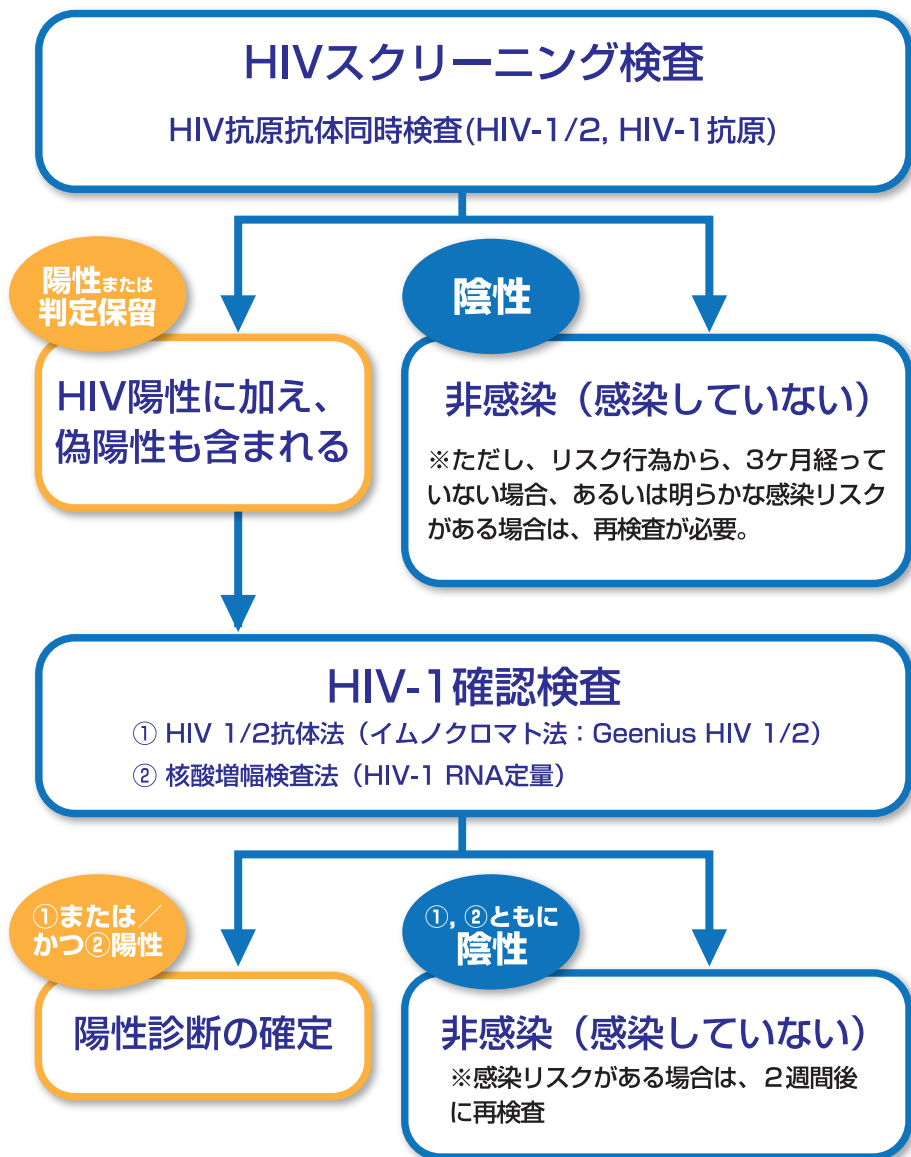
Q. HIVが陽性だったときはどのように説明したいですか？

**A. 「HIV感染症は治療可能で、すぐに死ぬ病気ではありません。」
「昔と違って治療薬があります。」**

この2点をまずは説明し、あとはHIV専門病院を速やかに受診するよう促してしてください。

- HIV・エイズの専門治療を行っているHIV拠点病院は、「HIV拠点病院診療案内」ホームページから検索できます。

HIV感染症診断のためのフローチャート

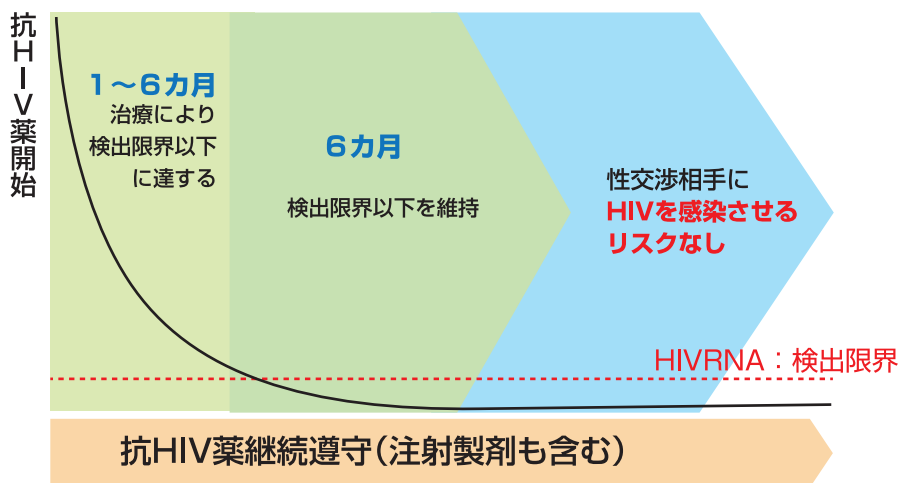


※詳細は「診療におけるHIV-1/2感染症のガイドライン2020」
(日本エイズ学会・日本臨床検査医学会 標準推奨法)を参照のこと
※参考文献 「病院におけるHIV検査実施ガイドライン」

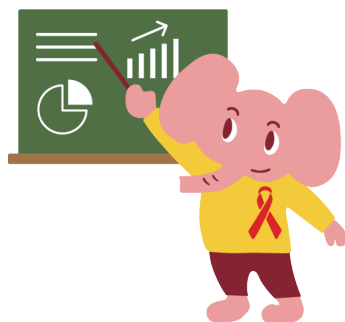
効果的な治療を続ければHIVは感染しない！

U=U 「検出限界値未満 = HIV感染しない」

(**U**ndetectable equals **U**ntransmittable)



抗HIV薬を内服し、HIVコントロールが良い状態が6か月以上持続すれば、その後も抗HIV薬の内服遵守することで、他者に対してコンドームなしの性交渉でもHIVを感染させることはありません。





治療の進歩（抗HIV薬の移り変わり）



~1999年



服薬量多め
内服時間がバラバラ
副作用も多彩



2000
~
2004



2005
~
2008



2009
~
2012



服薬量減量
1日1~2回
副作用も軽減



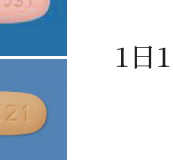
2013~



1日1回1錠



2015~



2023~



持効性注射剤
1~2か月に1度投与



※多剤耐性HIV感染症
に対して年2回併用投与

福岡県内の拠点病院

施設名	診療科	住所	問い合わせ先
国立病院機構 九州医療センター	免疫感染症内科	福岡市中央区地行浜1-8-1	092-852-0700 (内線：2501)
産業医科大学病院	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科	北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	093-603-1611 (内線：5676)
九州大学病院	総合診療科	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-5300
福岡大学病院	腫瘍・血液 感染症内科	福岡市城南区七隈7-45-1	092-801-1011 (内線：2819)
飯塚病院	総合診療科	飯塚市芳雄町3-83	0948-29-8050
久留米大学病院	呼吸器・神経 膠原病内科	久留米市旭町67	0942-31-7611
聖マリア病院	血液内科	久留米市津福本町422	0942-35-3322 (内線：6030)

福岡県内の協力病院クリニック

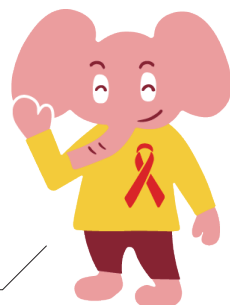
施設名	診療科	住所	問い合わせ先
戸畑総合病院	内科 膠原病リウマチ内科	北九州市戸畑区福柳木1-3-33	093-871-2760
西福岡病院	内科	福岡市西区生の松原3丁目18-8	0570-09-1331
大博通り内科 総合診療クリニック	感染症内科	福岡市博多区冷泉町5-32オーシャン博多ビル1F	092-283-7041



終わりに

全世界で年間130万人が新たにHIVに感染し、2023年には感染者数が3,990万人以上と報告されました。近年、我が国における新規感染者は減少傾向ではあるものの、年間600人以上が新規に罹患している状況です。適切な抗HIV治療が感染予防にもつながるため、感染の早期発見が今後ますます重要となります。

HIV早期発見のために、ぜひこちらの「一般診療においてHIV感染症を疑うコツ」をご活用ください。



独立行政法人国立病院機構 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター

<イメージキャラクター> キクゾー



<発行>

令和7年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策研究事業
「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班

※無断転載禁止、掲載写真はプライバシー配慮のため一部加工しています

※参考文献 ・ファクトシート 2024 UNAIDS
・「病院におけるHIV検査実施ガイドライン」
(厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業
「HIV検査相談の充実と利用機会促進に関する研究」班)

<連絡先>

国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
〒810-8563 福岡市中央区地行浜1-8-1
TEL:092-852-0700(内線:2501) FAX:092-847-8801